

小城市立岩松小学校
学校だより 第18号



岩松小だより

令和7年9月1日発行
発行者 校長 真子靖弘

「自律・尊重・挑戦」を育む2学期へ

2学期が始まりました。夏休み中は、お子さんたちは時間をうまく使い、有意義な日々を過ごせましたでしょうか？誰もが1日は24時間。限りある時間を有効に使うためには、物事に優先順位をつけ、見通しをもって行動する力が大切です。子どもたちには、このような力を身につけてほしいと願っています。

2学期の始まりにあたり、本校が掲げる教育目標について、改めてお話しさせてください。本校の教育活動の最上位にある教育目標は、「『自律』・『尊重』・『挑戦』を大切にしたい学びがある学校」です。その先にあるのが、「個人と社会の Well-being」の実現です。

現代社会は、VUCA と呼ばれる先の見通しが難しい時代です。また、AIをはじめとする技術革新により、知識をただ暗記するだけでは通用しない時代へと変わりつつあります。子どもたちが大人になる頃には、知識そのものよりも、AIを使いこなし、何を生み出せるかが問われるようになるでしょう。さらに、多様な価値観をもつ人々が共に生きる（多様性が尊重される）社会が、より一層進んでいきます。

このような時代を、子どもたちがたくましく生き抜くために、本校は特に次の3つの力を大切に育てていきます。

自律：自ら考え、判断・決定し、行動する

尊重：他者の価値観や意見、人格などを認め大切に扱う

挑戦：失敗を恐れず、新しいこと・困難なことに立ち向かう



これらの力を育むため、授業や行事を通して、子ども自身に「自分で選んで決める」経験をさせたり、異学年で交流する時間を設けたり、運動会や講演会などの学校行事を子どもたちが主体となって企画・運営していきます。



学校は「小さな社会」です。この場所で、一人ひとりが自らの可能性を広げ（個人の Well-being）、同時に社会の一員としての役割を学び（社会の Well-being）、未来をたくましく生きる力を育ててまいります。

AIが拓く、新しい学びの可能性

お子さんの学習状況について、「どこでつまづいているか分からない」「得意なところをもっと伸ばしてあげたい」と考えるときはありませんか？今年度、本校は5・6年生にAI型教材**キュビナ**を試験的に導入しました。子どもたち一人ひとりの「分からない」をなくし、「もっと知りたい」を伸ばすための新しい挑戦です。

キュビナは、AIが一人ひとりの「今」の学習状況を分析し、最適な学びを自動で提供します。

<キュビナが子どもたちの学びを変える理由>

□個別の学習ルートをAIが作成

つまづいた部分があれば、AIがすぐにヒントや復習問題を出してくれます。逆に、スラスラ解ける場合は、学年を超えて先に進むことも可能です。

□「手書き入力」でスムーズに学習

算数の計算や図形も、タブレットに直接書くことができます。紙のノートと同じように直感的に使えるため、デジタル学習に慣れない子どもでも抵抗なく使えます。



1学期末に6年生に実施したアンケートでは、多くの子どもがキュビナの効果を実感していました。

- ・89.6%の児童が「よくわかった」と感じる機会が増加。
- ・89.6%の児童が苦手克服を実感。
- ・93.1%の児童が解説の分かりやすさに高評価。
- ・79.3%の児童が「紙よりキュビナの方が理解が深まる」と回答。

これらの結果は、AIと教育が融合することで生まれる新しい学びの可能性を示しています。

本校は、このキュビナの導入を、子どもたちが主体的に学ぶ力を育むための重要な一歩と考えています。来年度は、この効果を踏まえ、さらに多くの学年への導入を検討していきます。



ナチュラルダンスステアトル来校

9/3(水)、全校児童を対象にナチュラルダンスステアトルワークショップを開催します。本公演は11/7(金)。

